

## 授業概要

私達は日常の生活において「日本語」を何気なく使っているが、実は、携帯電話や車がどのような仕組みで動いているのかがよく分からないのと同じように、普段使っている日本語にも知らないことがたくさんある。

例えば、なぜ、「一本、二本、三本」は「いっぽん、にほん、さんぽん」と発音するのか？ なぜ、嘘の色（？）は赤くないのに「真っ赤な嘘」というのか？ なぜ、探し物は今ここにあるのに、「ここにあった！」と過去の「た」を使うのか？ なぜ、高校の古文で習った「係り結び」は今の日本語にはないのか？

本講義では、こうした素朴な疑問を各回のトピックとし、音韻・文法・語彙・表記・方言といった観点から日本語の様々な現象・特徴を講義する。

## 授業計画

第1回	ガイダンスと「日本語学」
第2回	日本語の歴史概観
第3回	日本語の音声① なぜ神田は「Kanda」なのに、新橋は「Shimbashi」なのか？
第4回	日本語の音声② なぜ、春（はる）＋雨（あめ）なのに春雨（はるさめ）なのか？
第5回	日本語の音声③ なぜ「ぢ」と「じ」は同じ発音なのに文字が二種類あるのか？
第6回	日本語の語彙① 「綺麗」と「美しい」、「あがる」と「のぼる」はどう違う？
第7回	日本語の語彙② 「真っ赤な嘘」はなぜ赤い？
第8回	日本語の文法① 文法・文とは何か？文はどのような部品で構成されているか？
第9回	日本語の文法② なぜ現在のことなのに「ここにあった！」なのか？
第10回	日本語の文法③ 係り結びはどこへ行ったのか？
第11回	日本語の表記① なぜ、日本語にはひらがなとカタカナと漢字があるのか？
第12回	日本語の表記② 蕎麦屋の看板のよく読めない文字は、何が書いてあるのか？
第13回	日本語の位相とスタイル① 東京にも方言はあるのか？
第14回	日本語の位相とスタイル② ら抜き言葉は「間違った日本語」なのか？
第15回	講義のまとめ
第16回	試験（筆記試験による）

## 到達目標

- 日本語に関する諸問題について一通りの知識を身につける。
- 日常生活の中で、言葉に対して素朴な疑問を抱けるようになる。
- さらに、その疑問を自分の手で分析・解決できるようになる。

## 履修上の注意

- 小テスト、小課題あり。
- 自分の頭で考えて手を動かしてもらうことが多い。積極的に参加すること。

## 予習復習

- 次回のトピックに関して、「〇〇といったテーマについて考える」「〇〇に当てはまる△△を探してくる」程度の予習・課題を課すことがある。

## 評価方法

- 講義中のコメントシート 25% ・小テスト・課題の提出等 25% ・期末試験（筆記試験）50%
- 期末試験の受験には3分の2以上の出席が義務付けられているが、試験は全 15 回の内容が前提となるため、全 15 回、休まず出席すること。遅刻は 2 回で 1 回分の欠席として扱う。

## テキスト

- 講義中に資料を配布するため、テキストの購入は不要。
- 資料をまとめるためのファイル・ノート等を一冊用意すること。